

第2学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
じゅんばんに　ならぼう 1時間（話・聞①）	1	○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞くことができる。（思・判・表A(1)エ） ■出された課題に応じて、声をかけ合いながら順番に並ぶ。	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア）	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞いている。（A(1)エ）	【態】自分が聞きたいことを粘り強く集中して聞き取り、学習課題に沿って声をかけ合い、正しい順番で並ぼうとしている。
絵を　見て　かこう つづけて　みよう 1時間（書①）	1	○第1学年に配当されている漢字を文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○想像したことなどから書くことを見つめ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)オ） ■絵に描かれた様子を文章に書く。	【知・技】第1学年に配当されている漢字を文章の中で使っている。（(1)エ）	【思・判・表】 ・「書くこと」において、想像したことなどから書くことを見つめ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア） ・「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見つけている。（B(1)オ）	【態】絵の中からすすんで書くことを見つけ、これまでの学習をいかして文章を書くとしている。
ふきのとう 9時間（読⑨）	9	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ◎場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ■音読を聞き合い、感想を伝え合う。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科） ☆音読の様子を撮影し、見せ合う活動（ICT活用）	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク）	【思・判・表】「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ）	【態】場面の様子を表す言葉を手がかりに粘り強く物語の内容を確かめ、これまでの学習をいかして音読を工夫し、感想を伝え合おうとしている。
図書館たんけん 1時間（知・技①）	1	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ■図書館の本の並べ方の決まりや工夫を見つけ、発表する。 ☆図書館で読みたい本を探し、本の分類を学ぶ教材（図書館活用） ☆書架の様子や本の並べ方の撮影（ICT活用）	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ）		【態】積極的に図書館の配架や本の並べ方を学び、学習課題に沿って自分の読みたい本を探そうとしている。
春が　いっぱい 2時間（書②）	2	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○経験したことなどから書くことを見つめ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■春を感じるものを見つけ、自分の感想を添えた、春のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科） ☆春らしい歌詞や、旋律などを楽しむ活動（音楽） ☆春を感じるものの撮影（ICT活用）	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つめ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
日記を　書こう 4時間（書④）	4	◎経験したことなどから書くことを見つめ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ■身近な出来事を日記に書く。 ☆学校生活や家庭生活、身近な自然や季節の行事などに目を向けさせる題材（特別活動、生活科）	【知・技】言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。（(1)ア）	【思・判・表】「書くこと」において、経	【態】すすんで経験したことなどから伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって日記を書こうとしている。

第2学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ともだちは どこかな 【コラム】声の 出し方に 気を つけよう 5時間（話・聞⑤）	5	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。（思・判・表A(1)エ） ○音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。（知・技(1)イ） ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。（思・判・表A(1)ウ） ■目的に応じて大事なことをメモしながら聞き取る。 ☆必要なことについて、身近な人と連絡し合う活動（学校生活）	【知・技】 ・音節と文字との関係、アクセントによる語の意味の違いなどに気づくとともに、姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。（(1)イ） ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。（A(1)ウ） ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。（A(1)エ）	【態】自分にとって必要なことを集中して粘り強く聞き取り、これまでの学習をいかして簡潔にメモしようとしている。
たんぼの ちえ 【じょうほう】じゅんじょ 10時間（知・技①、読⑨）	10	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)ア） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。（思・判・表C(1)ウ） ■植物の知恵について書かれている文章を読み、感想を書く。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科）	【知・技】 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク） ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。（C(1)ウ）	【態】粘り強く時間的な順序を考えて内容を捉え、学習の見通しをもって読んだ文章の感想を書こうとしている。
かんさつ名人に ならう 10時間（書⑩）	10	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ■観察したことを記録する文章を書く。 ☆育てている動植物を観察し、分かったことなどを記録する活動（生活科） ☆身近な動植物の変化や成長の様子への関心を育む題材（道徳、生活科） ☆観察するものを撮影して記録する活動（ICT活用）	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	【態】書くために必要な事柄をすすんで集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にし、これまでの学習をいかして観察記録文を書こうとしている。
いなばの 白うさぎ 2時間（知・技②）	2	◎神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。（知・技(3)ア） ■神話の読み聞かせを聞き、感想を伝え合う。 ☆郷土への愛着を養う題材（道徳） ☆昔話や神話の本を図書館で探して読む活動（図書館活用）	【知・技】神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。（(3)ア）		【態】すすんで神話の読み聞かせを聞き、これまでの学習をいかして感想を伝え合おうとしている。
同じ ぶぶんを もつ かん字 2時間（知・技②）	2	◎第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を読み、文や文章の中で使っている。（(1)エ）		【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字の読み書きに取り組み、学習課題に沿って、同じ部分をもつ漢字を見つけようとしている。
スイミー 9時間（読⑨）	9	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ■物語を読み、好きな場面について伝え合う。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)エ）	【態】粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習課題に沿って自分の好きな場面を伝え合おうとしている。
かん字の ひろば① 2時間（書②）	2	◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ・語と語との続き方に注意することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■絵を説明する文を書く。	【知・技】 ・助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。（(1)ウ） ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）	【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。（B(1)ウ）	【態】すすんで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。

第2学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【じょうほう】メモをとるとき 3時間（書③）	3	◎経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ☆気づいたことや分かったことをメモする活動（生活科、学校生活）	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア）	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	【態】積極的に必要な事柄を集め、これまでの学習をいかして知らせたいことをメモに取ろうとしている。
こんなもの、見つけたよ 【コラム】丸、点、かぎ 10時間（書⑩）	10	◎句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ■自分が見つけた「いいな」と思うものを友達に伝える文章を書く。 ☆身近な地域の特色や行事、施設などに目を向けさせる題材（生活科） ☆見つけたものを撮影する活動（ICT活用）	【知・技】句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して、文や文章の中で使っている。（(1)ウ）	【思・判・表】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（B(1)イ）	【態】事柄の順序に沿った構成を粘り強く考え、学習の見通しをもって、読み手に分かりやすく伝える文章を書こうとしている。
あったらいいな、こんなもの 7時間（話・聞⑦）	7	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ◎話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつことができる。（思・判・表A(1)エ） ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ■質問をし合うことを通して考えをまとめる。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもっている。（A(1)エ）	【態】話し手が知らせたいことを落とさないように粘り強く聞き、学習課題に沿って質問をし合って考えをまとめようとしている。
夏がいっぱい 2時間（書②）	2	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■夏を感じるものを見つけ、自分の感想を添えた、夏のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科） ☆夏らしい歌詞や、旋律などを楽しむ活動（音楽） ☆夏を感じるものの撮影（ICT活用）	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし 6時間（読⑥）	6	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ■お気に入りの本を紹介し合う。 ☆お気に入りの本を探す活動（図書館活用）	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ）	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ）	【態】すすんで読書に親しみ、学習課題に沿ってお気に入りの本を紹介しようとしている。
雨のうた 2時間（読②）	2	○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ○詩を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ■様子を想像しながら音読して、詩を楽しむ。	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク）	【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ）	【態】粘り強く語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読し、これまでの学習をいかして詩を楽しんで読もうとしている。
ことばでみちあんない 3時間（話・聞③）	3	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。（思・判・表A(1)イ） ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えることができる。（思・判・表A(1)エ） ■友達と道案内をし合う。	【知・技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えていく。（A(1)イ） ・「話すこと・聞くこと」において、話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えている。（A(1)エ）	【態】話す事柄の順序を粘り強く考え、学習課題に沿って相手を目的地に導く道案内をしようとしている。

第2学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みの回りのものを読もう 2時間（読②）	2	◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。（思・判・表C(1)ウ） ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ■身の回りの情報を集めて整理する。 ☆町探検（生活科） ☆見つけたものの撮影（I.C.T活用）	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。（C(1)ウ） ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ）	【態】積極的に身の回りのものから重要な情報を読み取り、学習課題に沿って、考えを交流しようとしている。
書いたら、見直そう 2時間（書②）	2	◎文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりすることができる。（思・判・表B(1)エ） ○長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ）	【知・技】長音、拗音、促音、撥音などの表記、助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方、かぎ（「」）の使い方を理解して文や文章の中で使っている。（(1)ウ）	【思・判・表】「書くこと」において、文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりしている。（B(1)エ）	【態】すすんで文章を読み返し、学習課題に沿って間違いなどを正そうとしている。
かん字のひろば② 2時間（書②）	2	◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・語と語との続き方に注意することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■絵の言葉を使って、日記を書くように文章を書く。	【知・技】第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）	【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。（B(1)ウ）	【態】すすんで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして日記を書こうとしている。
どうぶつ園のじゅうい 10時間（読⑩）	10	◎文の中における主語と述語の関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ○時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)ア） ■説明的な文章を読んで、考えたことを話す。 ☆働くことの価値や意味を理解する精神や、身近な動物に優しい心で接する態度を養う題材（道徳、生活科）	【知・技】 ・文の中における主語と述語の関係に気づいている。（(1)カ） ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉えている。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ）	【態】すすんで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、これまでの学習をいかして、文章を読んで考えたことを友達と話そうとしている。
かたかなのひろば 2時間（書②）	2	◎片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ○語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■絵の中の言葉を使って、文を作る。	【知・技】片仮名を読み、書くとともに片仮名で書く語の種類を知り、文や文章の中で使っている。（(1)ウ）	【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ）	【態】すすんで片仮名を使って書く語を見つけ、学習課題に沿って文を書こうとしている。
ことばあそびをしよう 2時間（知・技②）	2	◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。（知・技(3)イ） ■言葉遊びを楽しむ。	【知・技】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。（(3)イ）		【態】すすんで、言葉の豊かさに気づき、これまでの学習をいかして言葉遊びを楽しむようとしている。
なかまのことばとかん字 2時間（知・技②）	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。（知・技(1)エ）	【知・技】 ・第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。（(1)エ） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。（(1)オ）		【態】すすんで、言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って仲間の言葉を集めようとしている。
かん字のひろば③ 2時間（書②）	2	◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ・語と語との続き方に注意することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■絵を説明する文を書く。	【知・技】 ・助詞の「は」「へ」「を」の使い方、句読点の打ち方を理解して、文や文章の中で使っている。（(1)ウ） ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）	【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。（B(1)ウ）	【態】すすんで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文章を書こうとしている。

第2学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
お手紙 12時間（読⑩）	12	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ◎文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■物語を読み、登場人物に向けて手紙を書く。 ☆同じシリーズの本を図書館で探して読む活動（図書館活用）	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)エ） ・「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ）	【態】すすんで文章の内容と自分の体験とを結び付けて感想をもち、学習課題に沿って、登場人物に手紙を書こうとしている。
主語と述語に 気をつけよう 2時間（知・技②）	2	◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ）	【知・技】文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ）		【態】積極的に、主語と述語の関係に気づき、学習課題に沿って文中から主語と述語を捉えようとしている。
かん字の読み方 2時間（知・技②）	2	◎第2学年までに配当されている漢字を読むことができるとともに、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ）	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を読んでいるとともに、文や文章の中で使っている。（(1)エ）		【態】すすんで第2学年までに配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、漢字の異なる読み方に気をつけて読もうとしている。
秋がいっぱい 2時間（書②）	2	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■秋を感じる言葉や詩を見つけ、自分の感想を添えた、秋のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科） ☆秋の風情が感じられる曲や歌を楽しんだり、景色を描いたりする活動（音楽・図工） ☆秋を感じるものの撮影（ICT活用）	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
そうだんにのってください 8時間（話・聞⑧）	8	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐことができる。（思・判・表A(1)オ） ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。（思・判・表A(1)ア） ■グループで相談する。 ☆互いの困りごとを解決するために協力する題材（学級活動、生活科） ☆話し合いの様子を撮影し、自分や相手の話し方を見返す活動（ICT活用）	【知・技】共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。（A(1)ア） ・「話すこと・聞くこと」において、互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。（A(1)オ）	【態】積極的に相手の発言を受けて話をつなぎ、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
紙コップ花火の作り方 おもちゃの作り方をせつめいしよう 14時間（書⑧、読⑥）	14	◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア） ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ◎文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。（思・判・表C(1)ウ） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)ア） ■おもちゃの作り方を説明する文章を読み、それをいかして書く。 ☆おもちゃを作る活動（図工・生活科） ☆説明するおもちゃの写真の撮影（ICT活用）	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	【思・判・表】 ・「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ） ・「読むこと」において、時間的な順序や事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉えている。（C(1)ア） ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。（C(1)ウ）	【態】すすんで文章の中の語や文を選び出し、事柄の順序に沿って分かりやすく伝える書き表し方を工夫したりして、学習の見通しをもっておもちゃの作り方を説明する文章を書こうとしている。
にたいみのことば、はんたいのいみのことば 2時間（知・技②）	2	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ）	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気づき、語彙を豊かにしている。（(1)オ）		【態】すすんで言葉には意味によるまとまりがあることに気づき、学習課題に沿って、似た意味の言葉や反対の意味の言葉の組を作ろうとしている。

第2学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
せかいーの話 1時間（読①）	1	◎昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。（知・技(3)ア） ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつことができる。（思・判・表C(1)オ） ■昔話の読み聞かせを聞き、おもしろいと思うところを伝え合う。	【知・技】昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しんでいる。（(3)ア）	【思・判・表】「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ）	【態】すすんで昔話の読み聞かせを聞いて伝統的な言語文化に親しみ、これまでの学習をいかして、おもしろいと思うことを共有しようとしている。
かん字のひろば④ 2時間（書②）	2	◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ・語と語との続き方に注意することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■数を表す言葉を使って、算数の問題を作って書く。 ☆足し算や引き算の問題作り（算数）	【知・技】第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ）	【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意している。（B(1)ウ）	【態】すすんで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして文章を書こうとしている。
みきのたからもの 10時間（読⑩）	10	◎場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ○場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えることができる。（思・判・表C(1)イ） ■物語を読み、あらすじをまとめて紹介する文章を書く。 ☆教科書で紹介されている本を参考に、楽しく読める本を図書館で探して読む活動（図書館活用）	【知・技】 ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ） ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えている。（C(1)イ） ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)エ）	【態】登場人物の様子を具体的に想像することに積極的に取り組み、学習の見通しをもってお話を紹介する文章を書こうとしている。
			◎共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	○「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。（B(1)イ） ◎「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。（C(1)オ） ◎「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ）	・すすんで説明の工夫を見つけようとし、学習課題にそって、感じたことやわかったことをノートにまとめている。
お話のさくしやになろう 10時間（書⑩）	10	◎文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ◎自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。（思・判・表B(1)イ） ■絵から想像を広げて物語を書く。	【知・技】文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ）	【思・判・表】「書くこと」において、自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。（B(1)イ）	【態】事柄の順序に沿って粘り強く構成を考え、学習課題に沿って物語を書こうとしている。
冬がいっぱい 2時間（書②）	2	◎言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■冬を感じる言葉や詩を見つけ、自分の感想を添えた、冬のカードを作る。 ☆身近な自然に目を向け、親しみをもつことを促す題材（道徳、生活科） ☆冬の季節感が感じられる曲や歌を楽しむ活動（音楽） ☆冬を感じるものの撮影（ICT活用）	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	【態】積極的に、言葉には事物の内容を表す働きがあることに気づき、学習課題に沿って見つけたものをカードに書こうとしている。
ねこのこ おとのはなびら はんたいことば 2時間（読②）	2	◎詩を読んで、感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。（知・技(1)ク） ■詩を楽しんで読み、お気に入りの詩をカードに書いて交流する。 ☆友達に贈る詩を図書館で探す活動（図書館活用）	【知・技】語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。（(1)ク）	【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで、感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ）	【態】詩を読んで感じたことをすすんで共有し、学習課題に沿って詩を紹介しようとしている。

第2学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
かたかなで書くことば 2時間（書②）	2	◎片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文の中で使うことができる。（知・技(1)ウ） ・語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■絵と対応する文を書く。	【知・技】片仮名を読み、書くとともに、片仮名で書く語の種類を知り、文の中で使っている。（(1)ウ）	【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ）	【態】積極的に、片仮名で書く語の種類を知り、これまでの学習をいかして、片仮名を使って文を書こうとしている。
ことばを楽しもう 1時間（知・技①）	1	◎長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づくことができる。（知・技(3)イ） ■言葉遊びを楽しむ。	【知・技】長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づいている。（(3)イ）		【態】積極的に、言葉の豊かさに気づき、学習課題に沿って言葉遊びを楽しもうとしている。
ロボット 12時間（読⑨）	12	◎読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。（知・技(3)エ） ◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ○文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。（思・判・表C(1)ウ） ■ロボットについて説明する文章を読み、考えたことを伝え合う。 ☆ロボットを紹介している本を、図書館で探して読む活動（図書館活用） ☆ロボットについてのインターネット検索（I C T活用）	【知・技】読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。（(3)エ）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。（C(1)ウ） ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ）	【態】文章を読んで、感じたことや分かったことをすすんで共有し、学習の見通しをもって、本を読んで分かったことを説明しようとしている。
ようすをあらわすことば 4時間（知・技①、書③）	4	◎身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■様子を表す言葉を使って文を書く。	【知・技】 ・言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気づいている。（(1)ア） ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】「書くこと」において、語	【態】すすんで身近なことを表す語句の量を増やして語彙を豊かにし、学習課題に沿って、様子を表す言葉を使って文を書こうとしている。
見たこと、かんじたこと 6時間（書⑥）	6	◎詩に対する感想を伝え合い、自分の詩の内容や表現のよいところを見つけることができる。（思・判・表B(1)オ） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ■経験したことを基に詩を書いて、読み合う。	【知・技】身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ）	【思・判・表】「書くこと」において、詩に対する感想を伝え合い、自分の詩の内容や表現のよいところを見つけている。（B(1)オ）	【態】すすんで感想を伝え合い、これまでの学習をいかして詩を書き、読み合おうとしている。
カンジーはかせの大はつめい 2時間（知・技②）	2	◎第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書くことができる。（知・技(1)エ）	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を読み、漸次書いている。（(1)エ）		【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を読んだり書いたりし、これまでの学習をいかして漢字クイズに取り組もうとしている。
すてきなところをつたえよう 10時間（書⑩）	10	◎丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れることができる。（知・技(1)キ） ◎語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■友達に手紙を書いて届ける。 ☆よりよい人間関係を築くのに資する題材（生活科・道徳）	【知・技】丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うとともに、敬体で書かれた文章に慣れている。（(1)キ）	【思・判・表】「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ）	【態】積極的に語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫し、これまでの学習をいかして手紙を書こうとしている。
スーホの白い馬 14時間（読⑭）	14	◎文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。（思・判・表C(1)カ） ○身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにすることができる。（知・技(1)オ） ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報について理解することができる。（知・技(2)ア） ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像することができる。（思・判・表C(1)エ） ■物語を読み、最も心を動かされたことについて、感想を交流する。 ☆世界の文化や風土などに親しむ題材（道徳）	【知・技】 ・身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことで、語彙を豊かにしている。（(1)オ） ・共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。（(2)ア）	【思・判・表】 ・「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。（C(1)エ） ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。（C(1)カ）	【態】文章を読んで感じたことや分かったことをすすんで共有し、学習課題に沿って、最も心を動かされたことを伝え合おうとしている。

第2学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
かん字の広場⑤ 2時間（書②）	2	◎第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)エ） ○文の中における主語と述語との関係に気づくことができる。（知・技(1)カ） ・語と語との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。（思・判・表B(1)ウ） ■絵の様子を説明する文を書く。	【知・技】 ・第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。（(1)エ） ・文の中における主語と述語との関係に気づいている。（(1)カ）	【思・判・表】「書くこと」において、語と語との続き方に注意しながら内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。（B(1)ウ）	【態】すすんで第1学年に配当されている漢字を使い、これまでの学習をいかして絵を説明する文を書こうとしている。
楽しかったよ、二年生 8時間（話・聞⑧）	8	◎姿勢や口形、発声や発音に注意して話すことができる。（知・技(1)イ） ◎相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。（思・判・表A(1)イ） ○丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使うことができる。（知・技(1)キ） ○伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫することができる。（思・判・表A(1)ウ） ■心に残ったことを発表する。 ☆1年間の生活を振り返り、心に残った経験などを紹介する活動（特別活動・生活科） ☆1年間を振り返り、自分の成長を実感させる題材（生活科） ☆練習時の様子の撮影（ICT活用）	【知・技】 ・姿勢や口形、発声や発音に注意して話している。（(1)イ） ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気をつけて使っている。（(1)キ）	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えている。（A(1)イ） ・「話すこと・聞くこと」において、伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫している。（A(1)ウ）	【態】行動したことや経験したことに基づいて話す事柄の順序を粘り強く考え、これまでの学習をいかして発表しようとしている
二年生をふりかえって 1時間（書①）	1	○言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づくことができる。（知・技(1)ア） ○経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア） ■1年間の国語の学習活動を振り返って書く。	【知・技】言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気づいている。（(1)ア）	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことなどから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりして伝えたいことを明確にしている。（B(1)ア）	【態】すすんで、経験したことなどから書くために必要な事柄を集めたり確かめたりし、これまでの学習をいかして、1年間の振り返りを書こうとしている。

第2学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書しゃの やくそく 〔教科書 巻頭〕		◎書写学習の前に、机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを行うことができる。〔知技(3)ウ(ア)〕			【態】すすんで(①)書写学習の前の確認事項を理解し(③)、学習課題に沿って(②)机上の整理、書くための準備運動、姿勢・筆記具の持ち方を確かめる一連の流れを実践しようとしている(④)。
字を 書く しせい	2～3	〔教科書P2-3〕 ◎文字を書くときの姿勢を正しくすることができる。〔知技(3)ウ(ア)〕	【知】文字を書くときの姿勢を正しくしている。	【思】唱え歌に合わせて、文字を書くときの姿勢を確かめている。	【態】積極的に(①)文字を書くときの姿勢を確かめ(③)、書写学習の見通しをもって(②)姿勢を正しくしようとしている(④)。
えんぴつの もち方		〔教科書P4-5〕 ◎筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。〔知技(3)ウ(ア)〕	【知】筆記具の持ち方を正しくして、書くようとしている。	【思】任意の線や文字を書きながら、正しい筆記具の持ち方を確かめている。	【態】積極的に(①)筆記具の正しい持ち方を確かめ(③)、書写学習の見通しをもって(②)任意の線や文字を書こうとしている(④)。
書しゃの 学しゅうばめん 〔教科書P6-7〕		◎教材内に提出される具体的な学習活動を知り、学習の見通しをもつことができる。〔知技(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)〕			【態】積極的に(①)教材内に提出される具体的な学習活動を知り(③)、書写学習の見通しをもって(②)以後の学習活動に取り組もうとしている(④)。
書きじゅん〔教科書P8-9〕	2	◎筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)〕	【知】筆順に従って丁寧に書いている。	【思】「三・川・月・中」と「立・林・円・車」をなぞるなかで、筆順の原則を確かめている。	【態】すすんで(①)筆順とその原則を確かめながら(③)、学習課題に沿って(②)漢字を書こうとしている(④)。
点と 画の 名前〔教科書P10-11〕	2	◎漢字が点画の組み合わせでできていることを理解し、点画の書き方に注意しながら書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)〕	【知】漢字が点画の組み合わせでできていることを理解し、点画の名称を覚えている。	【思】点画の形の特徴と対応させて、点画の名称を確かめている。	【態】積極的に(①)点画の名称を覚え(③)、学習課題に沿って(②)任意の漢字を書こうとしている(④)。
点や 画の 間〔教科書P12〕	2～3	◎点や画の間に注意して、文字を正しく書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)〕	【知】点や画の間に注意して、文字を正しく書いている。	【思】「目」「魚」を書くなかで、点画の間を確かめている。	【態】積極的に(①)点や画の間に気をつけて(③)、学習課題に沿って(②)「目」と「魚」を書こうとしている(④)。
画の 長さ〔教科書P13〕		◎点画の長短に注意して、文字を正しく書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)〕	【知】点画の長短に注意して、文字を正しく書いている。	【思】「言」「書」を書くなかで、点画の長短を確かめている。	【態】積極的に(①)点画の長短に気をつけて(③)、学習課題に沿って(②)「言」と「書」を書こうとしている(④)。
画の つき方と 交わり方 〔教科書P14-15〕	2	◎点画相互の接し方や交わり方に注意して、文字を正しく書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)〕	【知】点画相互の接し方や交わり方に注意して、文字を正しく書いている。	【思】「八・入・文」をなぞるなかで、点画の接し方や交わり方を確かめている。	【態】積極的に(①)点画の接し方や交わり方に気をつけて(③)、学習課題に沿って(②)空欄に入る漢字を正しく書こうとしている(④)。
ことば〔教科書P16-17〕	1	◎今までに学習した知識・技能を生かして丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】「スイミー」の文章をなぞるなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、これまでの学習を生かして(②)「スイミー」の文章をなぞろうとしている(④)。
書しゃ 広げたい❶<国語> 〔教科書P18-19〕	2	◎原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)〕 ○内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。〔B(1)ウ・エ、(2)ア〕	【知】原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】原稿用紙に文章を書くなかで、原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形を確かめている。	【態】すすんで(①)原稿用紙の使い方、点画の書き方や文字の形に注意し(③)、学習課題に沿って(②)原稿用紙に書こうとしている(④)。
書しゃ 広げたい❷<生活> 〔教科書P20〕		◎点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)〕 ○伝えたいことを簡単な手紙(お礼状)に書くことができる。〔B(1)ウ・エ、(2)イ〕	【知】点画の書き方や文字の形、横書きの書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】お礼状を書くなかで、点画の書き方や文字の形、横書きの書き方を確かめている。	【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の形、筆順、横書きの書き方に気をつけ(③)、これまでの学習を生かして(②)お礼状を書こうとしている(④)。
こんな ことは ないかな 〔教科書P21〕		◎点画の書き方や文字の形、連絡帳の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)・(ウ)〕 ○連絡帳に正しく記録することができる。〔B(1)ウ・エ〕	【知】点画の書き方や文字の形、連絡帳の書き方に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。	【思】連絡帳を書くなかで、今までに学習したことをどのように生かすかを考えている。	【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の形、筆順、連絡帳の書き方に気をつけ(③)、これまでの学習を生かして(②)連絡帳を書こうとしている(④)。
「はらい」の ほうこう 〔教科書P22-23〕	2	◎点画(払い)の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)〕	【知】点画(払い)の方向に注意して、文字を正しく書いている。	【思】「千・人・天・月」の左払いをなぞるなかで、点画(払い)の方向の違いを確かめている。	【態】積極的に(①)点画の方向に注意して(③)、学習課題に沿って(②)「春風」「手足」を書こうとしている(④)。

「おれ」の ほうこう [教科書P24]	2	◎点画（折れ）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	【知】点画（折れ）の方向に注意して、文字を正しく書いている。	【思】「日・口」をなぞるなかで、点画（折れ）の方向の違いを確かめている。	【態】積極的に(①)点画の方向に注意して(③)、学習課題に沿って(②)「日・円・口・出」を書こうとしている(④)。
「そり」の ほうこう [教科書P25]	2～3	◎点画（反り）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	【知】点画（反り）の方向に注意して、文字を正しく書いている。	【思】「気・思」をなぞるなかで、点画（反り）の方向の違いを確かめている。	【態】積極的に(①)点画の方向に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「気・思・手・子」を書こうとしている(④)。
「点」の ほうこう [教科書P26]		◎点画（点）の方向に注意して、文字を正しく書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	【知】点画（点）の方向に注意して、文字を正しく書いている。	【思】「立・小・点」をなぞるなかで、点画（点）の方向の違いを確かめている。	【態】積極的に(①)点画の方向に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「雨音」「金魚」を書こうとしている(④)。
水ふでで 書いて みよう [教科書P27]		◎点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(イ)、内容の取扱いカ(エ)]	【知】点画の書き方（止め・はね・払い）に注意しながら、水書用筆で丁寧に書いている。	【思】水書用筆で書くなかで、点画の書き方（止め・はね・払い）を確かめている。	【態】すすんで(①)点画の書き方（止め・はね・払い）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)水書用筆で書こうとしている(④)。
字の 形 [教科書P28]	2	◎文字の形（外形）に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	【知】文字の形（外形）に注意しながら、丁寧に書いている。	【思】「雨・月・西・上・下・手」を見るなかで、文字の形（外形）を確かめている。	【態】すすんで(①)文字の形（外形）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「左」「寺」を書こうとしている(④)。
字の 中心 [教科書P29]	1	◎文字の形（中心）に注意しながら、丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	【知】文字の形（中心）に注意しながら、丁寧に書いている。	【思】「本・文・合・二」を見るなかで、文字の形（中心）を確かめている。	【態】すすんで(①)文字の形（中心）に注意し(③)、学習課題に沿って(②)「出口」「天空」を書こうとしている(④)。
書きぞめ [教科書P30-31]	4～5	◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)]	【知】習得した知識・技能を生かして書いている。	【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書こうとしている(④)。
二年生の まとめ [教科書P32-33]	3～4	◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)]	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】「見・星・上・夏」「夜」「空」を書き直すなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】すすんで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「見・星・上・夏」「夜」「空」を書き直そうとしている(④)。
一年間の 学びを ふりかえろう [教科書P34-35]		◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(1)ウ・エ、(3)ウ(ア)・(イ)・(ウ)] ○経験したことを報告する文章を書くことができる。[B(1)ウ・エ、(2)ア]	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】「一年間の思い出」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】すすんで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)「一年間の思い出」を書こうとしている(④)。
ひらがな／かたかな／数字 [教科書P36]		◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)ウ、(3)ウ(イ)]	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。		【態】すすんで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)丁寧に書こうとしている(④)。
一年生で 学んだ かん字 [教科書P37]		◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。		【態】積極的に(①)点画の書き方や文字の形、筆順などを確かめ(③)、今までの学習を生かして(②)丁寧に書こうとしている(④)。
二年生で 学ぶ かん字 [教科書P38-39]		◎点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くことができる。[知技(1)エ、(3)ウ(イ)・(ウ)]	【知】点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書いている。		【態】すすんで(①)点画の書き方や文字の形、筆順などに気をつけ(③)、今までの学習を生かして(②)丁寧に書こうとしている(④)。
えんぴつの ひみつ [教科書P40]	1	◎鉛筆の作り方を理解し、筆記具への関心を高めることができる。[知技(3)ウ(ア)]	【知】鉛筆の作り方を理解している。		【態】すすんで(①)鉛筆の作り方を理解し(③)、今までの学習を生かして(②)理解したことや感じたことを話し合おうとしている(④)。
筆を つかった 学しゅう〈はってん〉 [教科書P41]		◎3年生から毛筆学習が始まることを知り、学習への興味を高めることができる。[3・4年知技(3)エ(ウ)]			【知】3年生から毛筆を使った学習が始まることを理解している。 【態】積極的に(①)毛筆について知ろうとし(②)、学習の見通しをもって(②)3年生から始まる毛筆学習への興味を高めようとしている(④)。

第2学年 算数

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで 算数を はじめよう！/ココアは いくつ	2	算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	問題解決の進め方を理解している。	問題の条件に着目し、題意に合う式を筋道を立てて考えたり表現したりしている。	問いをもち、主体的に考えたり友だちの考えから学び合おうとしたりするとともに、解決の過程や結果を振り返り、よりよい方法を考えたり新たな問いを見いだそうとしたりしている。
1. 表と グラフ	4	○簡単な表やグラフについて理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察する力を身につける。また、データを整理することにすすんで関わり、その過程を振り返り、表やグラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)、D(1)イ(イ)】	・身のまわりにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したりよみ取ったりすることができる。	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察している。＜思・判・表＞	・データを整理することにすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
2. たし算	9	○2位数の加法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法の計算のしかたを考えることにすすんで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(ウ)、A(2)イ(イ)、内(3)】	・2位数+2位数の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、加法の計算が確実にできる。また、加法に関して成り立つ性質について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・加法の計算にすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
3. ひき算	9	○2位数の減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、減法の計算のしかたを考えることにすすんで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(ウ)(エ)、A(2)イ(イ)】	・2位数－2位数の減法の計算が、1位数などについての基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、減法の計算が確実にできる。また、減法に関して成り立つ性質や、加法と減法との相互関係について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・減法の計算にすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
4. 長さ	8	○長さの単位「cm、mm」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることにすすんで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(イ)】	・長さの単位「cm、mm」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。＜思・判・表＞	・長さを比べたり測定したりすることにすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
5. 100より 大きい数	10	○3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力を身につけるとともに、十や百を単位としてみて、何十や何百の加法及び減法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことにすすんで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ)(ウ)、A(1)イ(イ)、A(2)ア(イ)】	・3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解している。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、簡単な場合について、3位数などの加法及び減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数を表すことにすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
たし算と ひき算の 図	2	①加法と減法のテープ図の見方やかき方を理解する。 ②加法や減法の問題場面をテープ図に表すことができる。	・加法、減法の問題場面をテープ図や式に表すことができる。	・加法と減法の相互関係をもとに、テープ図の見方やかき方を考えている。	・図を用いると場面や数量の関係が捉えやすくなることに気づき生活や学習に活用しようとしている。
6. たし算と ひき算	9	○百の位に繰り上がる2位数などの加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がり・繰り下がりがない3位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考えることにすすんで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ)、A(2)イ(イ)、内(2)(3)】	・2位数+1・2位数＝百何十何の加法及びその逆の減法や、百の位への繰り上がりがない3位数+1・2位数、百の位からの繰り下がりがない3位数－1・2位数の筆算のしかたを理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。また、（ ）の意味や用い方について理解している。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・加法及び減法の計算にすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
何人 いるかな	1	①重なりがある場合などの順序数の加法を理解する。			・順序数の加法の場面を図などを用いて表し、計算のしかたを考えている。

第2学年 算数

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7. 時こくと 時間	4	○時刻と時間の意味、時間の単位「日、時、分」について知り、日常生活の中で用いる力を身につける。また、時刻と時間を表すことにすすんで関わろうとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)、C(2)イ(ア)】	・時間の単位「日、時、分」について知り、それらの関係を理解している。 <知・技>	・時間の単位に着目し、時刻や時間を日常生活に生かしている。 <思・判・表>	・時刻と時間を表すことにすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。 <態度>
筆算を つくろう	1	①数字カードを使った活動をととして、筆算のしくみの理解を深める。			・筆算のしくみをもとに、決められた枚数の数字カードを使って正しい筆算の作り方を考えている。
8. 水の かさ	7	○かさの単位「L、dL、mL」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択してかさを測定する力を身につける。また、かさを比べたり測定したりすることにすすんで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)】	・かさの単位「L、dL、mL」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、かさについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。 <知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさを的確に表現したり、比べたりしている。 <思・判・表>	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位でかさを的確に表現したり、比べたりしている。 <思・判・表>
ロボットレース	1	①直線の作図の習熟を図る。	・ものさしを用いて直線を作図することができる。		
9. 三角形と 四角形	9	○三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、図形の特徴を見いだすことにすすんで関わり、身のまわりものの形を三角形、四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、A(1)イ(ア)、内(5)】	・三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形について理解し、紙を折って構成したり、格子点を使って作図したりすることができる。 <知・技>	・三角形や四角形の辺や頂点に着目し、構成のしかたを考えるとともに、身のまわりのものの形を三角形や四角形、長方形、正方形、直角三角形として捉えている。 <思・判・表>	・三角形や四角形にすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。 <態度>
タングラム	1	①図形についての感覚を豊かにする。	・身のまわりのものの形を図形として捉え、三角形や四角形を組み合わせで構成することができる。		
10. かけ算	20	○乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることにすすんで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)、A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、A(3)イ(ア)(イ)】	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(5、2、3、4の段) <知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <思・判・表>	・乗法の計算にすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。 <態度>
九九であそぼう	2	①②九九に習熟する。	・2の段から5の段までの九九が確実にできる。		
11. かけ算九九づくり	18	○乗法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法について考えることにすすんで関わり、乗法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(1)ア(エ)、A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、A(3)イ(ア)(イ)】	・乗法の意味や式について理解し、1位数と1位数との乗法の計算が確実にできる。(6、7、8、9、1の段) <知・技>	・数量の関係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。 <思・判・表>	・乗法の計算にすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。 <態度>
九九ジグソーパズル	1	①九九に習熟し、乗法の性質について理解を深める。			・九九ジグソーパズルの解決のしかたを、九九表における答えの並び方に着目して考えている。
12. 長いものの長さ	5	○長さの単位「m」について知り、単位を適切に選択して長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることにすすんで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)】	・長さの単位「m」について知り、単位の関係を理解し、長さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。 <知・技>	・身のまわりのものの特徴に着目し、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。 <思・判・表>	・長さを比べたり測定したりすることにすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。 <態度>

第2学年 算数

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
数をあらわそう	1	①1つの数をほかの数の和や差、積としてみるなど、数についての感覚を豊かにする。			・1つの数を多面的に捉え、ほかの数の和や差、積とみて式で表したり、図や絵で表したりしている。
13. 九九の表	6	○乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解し、それらの性質を見いだしたり、簡単な場合について2位数と1位数との乗法の計算のしかたを考える場合などに活用したりする力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質について考えることにすすんで関わり、それらを用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(3)ア(ウ)(オ)、A(3)イ(ア)、内(4)】	・乗法に関して成り立つ簡単な性質について理解している。また、簡単な場合について、2位数と1位数との乗法の計算のしかたを知っている。＜知・技＞	・数量の關係に着目し、計算に関して成り立つ性質を見いだすとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法に関して成り立つ性質を見いだすことにすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
14. はこの形	5	○長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、図形を構成する要素に着目して特徴を捉え、構成のしかたを考える力を身につける。また、箱の形の特徴を見いだすことにすすんで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 B(1)ア(ウ)、B(1)イ(ア)】	・長方形や正方形の面で構成される箱の形について理解し、それらを構成したり分解したりすることができる。＜知・技＞	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えているとともに、身のまわりのものの形を図形として捉えている。＜思・判・表＞	・箱の形にすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
15. 1000より大きい数	7	○4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方を理解し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考える力、及び百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考える力を身につける。また、数を表すことにすすんで関わり、数のまとまりに着目して数えたり表したりすることのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ)(ウ)(オ)、A(1)イ(ア)、A(2)ア(イ)、内(1)】	・4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方、数の大小や順序、及び数の相対的な大きさについて理解するとともに、簡単な事柄を分類整理し、それを数を用いて表すことができる。また、何百の加法の計算ができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。また、百を単位としてみて、何百の加法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞
数のめいろ	1	①決められた和になる数の選び方を、筋道を立てて考えることができる。			・決められた和になる数の選び方を筋道を立てて考えている。
16. 図をつかって考えよう	5	○加法と減法との相互関係について理解するとともに、逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけたりして解決のしかたを考える力を身につける。また、問題場면을図に表すことにすすんで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(2)ア(エ)】	・加法と減法との相互関係について理解するとともに、問題場면을図や式に表すことができる。＜知・技＞	・逆思考の問題場面について、図に表したり、図と式を関連づけたりして解決のしかたを考えている。＜思・判・表＞	・問題場면을図に表すことにすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
17. 1を分けて	6	○1/2、1/3など簡単な分数について知り、具体物を操作してそれらの大きさを作ることができるとともに、もとの大きさに着目して分数の大きさを捉えたり表現したりする力を身につける。また、分数にすすんで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(1)ア(カ)】	・1/2、1/3など簡単な分数について知っている。＜知・技＞	・もとの大きさに着目して、分数の大きさを捉えたり表現したりしている。＜思・判・表＞	・分数にすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
お楽しみ会で算数	1	①2学年の学習内容を理解し、問題を解くことができる。			日常の場面から算数の問題を見いだし、グラフや九九などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
算数をつかって考えよう	1	知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。		日常の場面から算数の問題を見いだし、グラフや九九などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。	・数量や図形にすすんで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。
2年のまとめ	4	①②③④第2学年の学習内容の問題を解決することができる。	第2学年の学習内容について、知識及び技能を身に付けている。		第2学年で学習した基本的な問題について、それらが確実に身にH12:P34つくように取り組もうとしている。

第2学年生活

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
春だ 今日から 2年生	6	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や地域の人や場所の働きを見付け、季節ごとに自然や自分たちの生活が変化していることに気付き、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとすることができるようにする。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、季節ごとに自然が変化していることや、季節に応じて自分たちの生活が変化していることに気付いている。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や特徴を探したり、地域の人や場所の働きを見付けたりしている。	○春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとしている。
ぐんぐん そだて わたしの 野さい	10	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみを持ち、大切にしようとするができるようにする。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみを持ち、大切にしようとしている。
どきどき わくわく まちたんけん	10	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分の関わりを見付け、地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようすることができるようにする。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付いている。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けている。	○地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。
生きもの なかよし 大作せん	10	動物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようすることができるようにする。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、生命をもっていることに気付いている。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	○動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。
うごく うごく わたしの おもちゃ	12	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付いている。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。	○身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。
みんなで つかう まちの しせつ	6	公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切にし、正しく安全に利用しようとするができるようにする。	○公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使う物があることや、それらを支えている人々がいることに気付いている。	○公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。	○公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切にし、正しく安全に利用しようとしている。
もっと なかよし まちたんけん	12	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。	○地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。	○地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けている。	○地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。
つながる 広がる わたしの 生活	12	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、すすんで触れ合い交流しようすることができるようにする。	○自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。	○自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	○自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみを持ち、すすんで触れ合い、交流しようとしている。

第2学年 音楽

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔巻頭教材〕	随時	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	・曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。 ・思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴きながら、声を合わせて歌ったり、拍に合わせてリズム打ちしたりする技能を身に付けている。	旋律やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	歌に合わせてリズムを打つことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。
〔スキルアップ〕	毎時	(1) 手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、思いに合った表現に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 (2) 強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得る。 (3) 手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、身の回りの様々な音や音楽に親しむ。	・手拍子による様々な音の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。 ・発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	・強弱、タイミング、打つ回数、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音遊びを通して音楽づくりの発想を得ている。	・手拍子で様々な表現をする学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。
1 強さと はやさ	7	(1) 曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 呼びかけとこたえや、強弱の変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、遊び歌に親しむ。	曲想と、強弱や速度、呼びかけとこたえなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	強弱や速度、呼びかけとこたえなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、歌詞や曲想に合った表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	呼びかけとこたえや、強弱の変化を捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。
2 はくや ドレミと なかよし	7	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付ける。 (2) リズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりする。 (3) 歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、拍やリズム、階名や鍵盤楽器に親しむ。	曲想とリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する技能や、階名で模唱したり、リズム譜などを見て演奏したりする技能を身に付けている。気付いている。	リズムなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、言葉とリズムとの関わりや曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いをもったり、音遊びを通して音楽づくりの発想を得たりしている。	歌に合わせてリズムを打つことや鍵盤楽器の演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。
〈音の スケッチ〉	3	(1) 音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 音の重なりやリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもつ。 (3) 音の重なりを選んで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和音の響きや鍵盤楽器に親しむ。	音の重なりや、フレーズのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	音の重なりやリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもっている。	音の重なりを選んで表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。

第2学年 音楽

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〔めざせ 楽き名人〕	毎時	(1) 楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3) ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器に親しむ。	楽器の音色と演奏の仕方との関わりに気付いている。「指くぐり」「指またぎ」の奏法や、思いに合った表現をするために必要な、範奏や伴奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏する技能を身に付けている。	旋律、拍、速度などを聴き取り、それらの働きの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	ドレミで歌ったり演奏したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
3 きよくに 合った 歌い方	4	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音色などを聴き取り、それらの働きの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などを丁寧に聴いたりする活動など興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、様々な音楽に親しむ。	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	旋律や音色などを聴き取り、それらの働きの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。	曲想を感じ取って表現を工夫したり、旋律や音色などを丁寧に聴いたりする活動など興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音の スケッチ〉	2	(1) 身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなどと関わらせて気付く。 (2) 音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴く。 (3) 身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音に親しむ。	身の回りの様々な音の特徴に、それらの生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。	音の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらの働きの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、それぞれの特徴を捉えて聴いている。	身の回りの音を探したり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4 音色と リズム	4	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりする。 (3) 楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、いろいろな打楽器に親しむ。	曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付いている。思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて楽器を演奏する技能を身に付けている。	音色やリズムなどを聴き取り、その面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いたり、歌詞に合った音色を工夫し、どのように表すかについて思いをもったりしている。	楽器の音色やリズムに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やフレーズを聴き取り、その働きの生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声及び発音に気を付けて歌う技能を身に付けている。	旋律やフレーズを聴き取り、その働きの生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〔めざせ 楽き名人〕	毎時	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、手の移動などの奏法や、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付ける。 (2) 旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きの生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもつ。 (3) 曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、鍵盤楽器やドイツ民謡に親しむ。	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。手の移動などの奏法や、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり範奏を聴いて演奏したりする技能を身に付けている。	旋律やフレーズ、反復を聴き取り、その働きの生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもっている。	曲想にふさわしい演奏に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第2学年 音楽

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 おまつりの 音楽	3	(1) 曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴く。 (3) いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、お祭りの音楽に親しむ。	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	音色やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の楽しさを見いだして聴いている。	いろいろな太鼓の音に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。
〈音の スケッチ〉	3	(1) 太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりする。 (3) 太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、和太鼓による音楽に親しむ。	太鼓の音やリズムのつなげ方の特徴に、それらが生み出す面白さなどに関わらせて気付いている。思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	リズムを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、簡単なリズムをつくることを通して音楽づくりの発想を得たり、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったりしている。	太鼓のリズムをもとに音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。
6 音楽の ながれ	2	(1) 曲想と音色など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、標題音楽やオーケストラの響きに親しむ。		音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の楽しさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	音楽の構造に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。
7 くりかえしと かなり	3	(1) 曲想と速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 反復、音の重なり、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、合唱奏に親しむ。	曲想と速度や反復など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景との関わりに気付いている。思いに合った表現をするために必要な、互いの声や楽器の音を聴き、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	反復、音の重なり、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	曲想を感じ取って表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。
8 みんなの 音楽	4	(1) 曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもつ。 (3) 曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	曲想と拍や旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。思いに合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	音色や音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想に合った表現を工夫し、どのように演奏したいかについて思いをもっている。	曲想を感じ取って歌ったり聴いたりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉	1	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組みうとしている。

第2学年音楽

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈音の スケッチ〉	4	(1) 音型の反復について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。音楽の縦と横との関係に親しむ。	音型の反復について、それらが生み出す面白さなどと関わらせて気付いている。思いに合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。	音楽の縦と横との関係や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように音を音楽にしていくなかについて思いをもったり、自分たちのつくった音楽と共通するところや、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	音型を組み合わせる音楽をつくることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〔クリスマス ソングを歌おう〕	1	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や速度などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (3) 曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、季節や行事に関わる歌に親しむ。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律や速度などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりしている。	曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈にっぽんのうた みんなのうた〉	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付くとともに、思いに合った表現をするために必要な、互いの声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や速度などを聴き取り、それらの生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもったり、曲の楽しさを見いだして聴いたりする。 (5) 曲想や、歌詞と旋律との関わりを感じ取って聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む、季節や行事に関わる歌に親しむ。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付いている。思いに合った表現をするために必要な、自分の歌声や発音に気を付けて歌う技能や、階名で模唱したり暗唱したりする技能を身に付けている。	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲想を感じ取って表現を工夫し、どのように歌うかについて思いをもっている。	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第2学年 図工

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
●すきなこと なあに	2	○好きなことの形や色を工夫して描く。 ○描きたい場面を考える。 ○好きなことを思い浮かべながら描くことをたのしむ。	○絵に表すことを通して、形や色などに気づいている。 ○表したいことをもとに、形や色、表し方を工夫して表している。	○経験をもとに表したいことを見つけ、形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の表したいことや表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。	○自分が好きなことを絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●こんにちは むぎゅたん	2	○ひねったりつまんだりして形を工夫する。 ○粘土の形を変えながら、想像した生き物を考える。 ○粘土の触り心地を感じながらつくることをたのしむ。	○手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形などに気づいている。 ○粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。	○粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形のよさや面白さ、表し方などについて感じ取って、自分の見方や感じ方を広げている。	○自分らしい「むぎゅたん」を表すことに関心をもち、粘土に積極的に働きかけながら立体に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●クレヨン、パスで らんらんランド	4	○クレヨンやパスの表し方を工夫する。 ○こすってぼかしたり引っかいたりして描きたいもの考える。 ○ぼかしたり引っかいたりして描く絵をたのしむ。	○ぼかしたり引っかいたりするなどのいろいろな表し方からクレヨンやパスで表す形や色に気づいている。 ○いろいろな表し方を試したり組み合わせたりしながら、表し方を工夫して表している。	○クレヨンやパスをぼかしたり引っかいたりした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○クレヨンやパスをぼかしたり引っかいたりした形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。	○クレヨンやパスをぼかすことや引っかいたりすることで絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●さらさら どろどろ	2	○砂や土を掘ったり丸めたり並べたりする。 ○砂や土でどんなことができるか考える。 ○砂や土の触り心地をたのしむ。	○自分の感覚や行為を通して、砂や土の形や色などに気づいている。 ○砂や土に十分に慣れ、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。	○砂や土の形や色などをもとに、造形的な活動を思いつき、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考えている。 ○砂や土の造形的な面白さやたのしさにについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○砂や土の触り心地を味わい、砂や土で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●おはながみ かさねて すかして	4	○お花紙の並べ方や重ね方を工夫する。 ○並べたり重ねたりしたお花紙から、好きな感じを考える。 ○お花紙の手触りや変化をたのしむ。	○作品づくりやできた作品を飾ることを通して、触った感じや、重なったお花紙の形や色などに気づいている。 ○お花紙の並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○お花紙を並べたり重ねたりしたときの形や色、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○お花紙の手触りや変化を感じ取ったり自分や友達の表し方を見たりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○お花紙の触り心地や変化を味わいながら、飾りをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●つんで ならべて びっくりシタワー	2	○粘土の積み方や並べ方を工夫する。 ○積んだり並べたりした形から、つくりたいもの考える。 ○粘土を積んだり並べたりして、つくすることをたのしむ。	○見たことがない形の「びっくりシタワー」をつくることを通して、粘土の形などに気づいている。 ○粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに粘土の積み方や並べ方を工夫して表している。	○粘土を積んだり並べたりしながら、感じたことや想像したことから自分がつくりたい形を考えている。 ○互いの作品の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、つくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●ならべて 見つけて いろいろ色水	2	○色水をつくり方や並べ方を工夫する。 ○色水をつくりながら、どんなことができるか考える。 ○色水をつくったり並べたりすることをたのしむ。	○色水をつくったり並べたりすることを通して、混ぜたときや並べたときの形や色に気づいている。 ○いろいろな色の色水をつくったり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。	○つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 ○自分や友達の活動の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○色水をつくったり並べたりすることに関心をもち、色水で思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●ふたりは なかよし	2	○紙コップや紙づつの形や飾りのつくり方を工夫する。 ○どんな二人組にするか考える。 ○仲良しの二人組をつくったのしむ。	○紙コップや紙づつなどの組み合わせを考えながら、形や色などに気づいている。 ○手や体全体の感覚を働かせながら、自分の表したい二人組の表し方を工夫して表している。	○紙コップや紙づつの形や色などをもとに、自分のつくりたい二人組を思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の二人組の形や色などについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○仲良しの二人組をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。

第2学年 図工

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
●どうぶつさんと いっしょに	4	○描きたい場面になるように、形や色を工夫する。 ○描きたい場面やそのときの気持ちを考える。 ○動物と いっしょにいる場面を描くことをたのしむ。	○動物との関わりを思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づいている。 ○表したいことをもとに描き方を工夫して表している。	○動物を見たり触れ合ったりしたときに感じたことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の表したいことや表し方に着目して、よさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○動物との関わりを思い出して、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●ジャンプ！キャッチ！紙けん玉	4	○紙けん玉の形や色、つくり方を工夫する。 ○仕組みからつくりたい紙けん玉を考える。 ○紙けん玉をつくったり、遊んだりすることをたのしむ。	○紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づいている。 ○すきな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すか考えている。○友達と作品で遊び合い、よさや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○けん玉をつくって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●えのぐじま	2	○筆使いや色の組み合わせを工夫する。 ○描きたいえのぐじまを考える。 ○絵の具と筆でのびのびと描くことをたのしむ。	○筆ののびのびと動かして描くことを通して「えのぐじま」の形や色などに気づいている。 ○筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら表し方を工夫して表している。	○「えのぐじま」などの言葉や絵の具の感触から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○絵の具で描かれた形や色などのよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○絵の具を筆で塗る心地よさを味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●どんどんかわるよ 新聞紙	2	○新聞紙のねじり方、裂き方などを工夫する。 ○新聞紙をねじったり裂いたりしながら、どんなことができるか考える。 ○新聞紙の手触りなどを感じながら、変化させることをたのしむ。	○新聞紙に働きかけることを通して、変化する形などに気づいている。 ○新聞紙を折ったり、ねじったり、裂いたりするなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。	○新聞紙に働きかけることを通して、変化した感じなどをもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。○さまざまに変化した新聞紙の感じや表現などの面白さやたのしさを味わい、自分の見方や考え方を広げている。	○新聞紙の触り心地を味わい、手や体全体で新聞紙に働きかけて変化させる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●ぎゅっとしたい！わたしの「お友だち」	4	○袋の形や色、材料の使い方を工夫する。 ○柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」を考える。 ○「お友だち」をつくることをたのしむ。	○紙をもんで柔らかくして「お友だち」をつくることを通して、紙の形や色などに気づいている。 ○手や体全体の感覚を働かせ、紙を柔らかくして自分の表したい「お友だち」の表し方を工夫して表している。	○柔らかくなった紙の袋の形や色から自分の表したい「お友だち」を思いつき、形や色などどのように表すか考えている。 ○「お友だち」の形や色、感触などについて、感じ取ったり味わったりし、自分の見方や感じ方を広げている。	○自分の「お友だち」をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●えのぐひっぱレインボー	4	○絵の具ののばし方を工夫する。○のばした絵の具の形や色から表したいことを考える。 ○絵の具をのばして描くことをたのしむ。	○自分の感覚やへらを引く行為を通して、形や色などに気づいている。 ○絵の具の色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりするなど、表し方を工夫して表している。	○厚紙でのばした絵の具の形や色から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の面白さやたのしさ、表したいことなどについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくりだす喜びを味わい、絵の具をのばして絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●コップ くるくる チェンジ	2	○絵の動かし方や、つくり方を工夫する。○重ねて回すと絵が変化する仕組みから、表したいことを考える。○つくって動かす活動をたのしむ。	○紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や形、色などに気づいている。○仕組みを試しながら、カラーペンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	○仕組みから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。○自分や友達の作品を動かしたり見たりしながら、いろいろな表し方の面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○仕組みに関心をもち、表し方を考えながら、つくって動かす学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●たからもの のものがたり	2	○宝物の形や色などに気づく。○大切な宝物にしている理由を考える。○宝物を見て、話し合う活動をたのしむ。	○身近にあるものを集めることを通して、その形や色などに気づいている。○自分の気持ちをカードに工夫して表している。	○身近なものにある思い出などから自分のイメージをもっている。○身近にあるものの造形的な面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○身近なものに関わり、鑑賞する学習活動にたのしく取り組もうとしている。

第2学年 図工

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
●しげんからの おくりもの	2	○材料の並べ方や重ね方など、組み合わせを工夫する。 ○材料の形や色から、どんなことができるか考える。 ○自然の材料でたのしく活動する。	○自然の材料を集め、並べたり組み合わせたりすることを通して、材料の形や色などに気づいている。 ○自然の材料を並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覚を働かせて、活動を工夫してつくっている。	○自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 ○活動によって表れた造形的な面白さやたのしさから、自分の見方や感じ方を広げている。	○自然の材料の形や色に関心をもち、思いついたことを表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●わくわく カッターナイフ	2	○カッターナイフの使い方に慣れる。 ○切ってきた形から、つくりたいものを考える。 ○紙を切るたのしさを味わう。	○カッターナイフで紙を切ることを通して、切ってきた形や色に気づいている。 ○安全で正しいカッターナイフの使い方に慣れ、いろいろな線で切ることを試し、工夫して表している。	○カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○形や色などをもとに、作品のよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○カッターナイフで紙を切る心地よさを味わい、紙を切る学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●まどのある たてもの	2	○建物の形や、窓の開け方を工夫する。 ○どんな形に切るか考えたり、どんな建物にするか考えたりする。 ○カッターナイフで紙を切ってつくることをたのしむ。	○カッターナイフで紙を切って窓や扉のある建物をつくることを通して、建物や窓や扉の形や色などに気づいている。 ○カッターナイフの扱いに十分に慣れ、表したいことをもとに、建物や窓や扉の開け方を工夫して表している。	○カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品を見せ合い、その面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○カッターナイフで紙を切る快さを味わい、カッターナイフで紙を切って表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●あなで つながる 二つの せかい	4	○穴を生かした絵の描き方を工夫する。 ○表と裏の二つの世界を考える。 ○友達と作品を見せ合ってたのしむ。	○穴でつながる二つの世界を描くことを通して、そこに生まれる形や色に気づいている。 ○穴の位置や開け方を工夫したり、描きたい二つの世界の表し方を工夫したりして表している。	○穴でつながる二つの世界を想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○二つの世界を行き来しながら自分や友達の作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○自分や友達の作品のよさを味わい、穴でつながる二つの世界を描く学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●たくさん うつそう わたしの 形	4	○繰り返しや重なりなど、写し方を工夫する。 ○写し方を試しながら、表したいことを考える。 ○型紙版画で写すことをたのしむ。	○版を写す活動を通して、写るものの形や色に気づいている。 ○版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、表し方を工夫して表している。	○たくさんあったら面白い形を考え、造形的な面白さやたのしさを感じながら、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○型紙版画の表現に関心をもち、版で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●まごころメダルを プレゼント	4	○気持ちが伝わるようにメダルの形や色を工夫する。 ○贈る人のことを思い浮かべてメダルを考える。 ○メダルで気持ちを伝えることをたのしむ。	○紙粘土の型押しをしたり絵の具で着彩したりすることを通して、紙粘土の形や色などに気づいている。 ○紙粘土や絵の具の扱い方に慣れ、表し方を工夫して表している。	○贈る人のことを思い浮かべてメダルをイメージし、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○メダルをつくることを通して、気持ちを伝える学習活動にたのしく取り組もうとしている。
●かぶって へんしん	6	○形や色、紙の貼り方を工夫する。○つくりたいお面を考える。 ○お面をつくったりかぶったりしてたのしむ。	○お面をつくったり、かぶったりすることを通して、お花紙でつくるお面の形や色などに気づいている。 ○お花紙や身近な材料などの扱いに十分に慣れるとともに、紙の貼り方を工夫して表している。	○なりたいもののイメージを広げて、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。 ○お面をつくることやかぶることを通して、造形的な面白さやたのしさを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○お面をつくることやかぶることの喜びを味わうとともに、お面をつくってかぶって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。

第2学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動遊び	5	・みんなでいろいろな運動を行い、体を動かす楽しさや気持ちよさを味わう。	・体ほぐしの運動遊びの行い方がわかる。 ・手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己の心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。	・友達感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒にやると楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を選んで選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 ・体を動かす気持ちがいよことや汗が出ることなどの気付いたことを言葉で表したり、気持ちを表すカードなどを用いたりして、友達に伝えている。	・体ほぐしの運動遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
多様な動きをつくる運動遊び	16	・バランスをとったり、体を移動したり、物を使ったり、力試しをしたりする、いろいろな動きを楽しむ。 ・動きを考えたり友達の考えた動きに挑戦したりする。	・多様な動きをつくる運動遊びの行い方がわかる。 （ア）体のバランスをとる運動遊び 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動遊びを通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 （イ）体を移動する運動遊び 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねるなどの動きで構成される運動遊びや一定の速さでのかけ足などの運動遊びを通して、様々な行い方で体を移動する動きを身に付けることができる。 （ウ）用具を操作する運動遊び 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗るなどの動きで構成される運動遊びを通して、用具を操作する動きを身に付けることができる。 （エ）力試しの運動遊び 人を押す、引く、運ぶ、支えるなどしたり、力比べをしたりするなどの動きで構成される運動遊びを通して、力を出しきったり、力を入れたり緩めたりする力試しの動きを身に付けることができる。	・友達感想や気付きを聞いたり、友達の動きを見たりして、できそうな運動遊びや友達と一緒にやると楽しい運動遊びを考え、選んでいる。 ・いろいろな種類の用具の中から操作しやすい物を選んで選んだり、楽しく動くことができる場を考えて選んだりしている。 ・友達の動きを見て見つけたよい動きや、行ってみて楽しいと感じた運動遊びの行い方を友達に伝えている。 ・用具の大きさや種類を変えたり、様々なやり方を試したりして選んだ行い方を、動作を交えながら友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
固定施設遊び	2	・固定施設のいろいろな遊び方に挑戦し、遊び方を工夫したり、できる遊び方を繋いだりする。	・固定施設を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ジャングルジムを使った運動遊び ・登り下り、渡り歩き、逆さの姿勢などを行うことができる。 ○雲梯を使った運動遊び ・懸垂移行や渡り歩きなどを行うことができる。 ○登り棒を使った運動遊び ・登り下りや逆さの姿勢などを行うことができる。 ○平均台を使った運動遊び ・渡り歩きや跳び下りなどを行うことができる。	・それぞれの固定施設を使って、楽しくできる場や自分の力に合った遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・固定施設遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
マット遊び	4	・マットを使っていろいろな遊びをする。	・マットを使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ゆりかご、前転がり、後ろ転がり、丸太転がりなど。 ・マットに背中や腹をつけて揺れたり、いろいろな方向に転がったりすることができる。 ○背支持倒立（首倒立）、うさぎ跳び、かえるの足打ち、かえるの逆立ち、壁登り逆立ち、支持での川跳び、ブリッジなど。 ・手や背中などで体を支えているいろいろな姿勢で逆立ちしたり、移動したり、体を反らしてブリッジをしたり、友達がつくったブリッジをくぐったりすることができる。	・複数のコースでいろいろな方向に転がることができるような場を選んだり、動物に変身して行う運動遊びの中から動物の動きを選んだりしている。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・マット遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・転がったりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

第2学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
鉄棒遊び	4	・いろいろな遊び方に挑戦し、遊び方を工夫したり、できる遊び方を繋いだりする。	・鉄棒を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○ふとん干し、こうもり、さるなど。 ・腹や膝、手でぶら下がったり、揺れたりすることができる。 ○つばめ ・体を伸ばし手で支えバランスをとって止まることができる。 ○跳び上がりや跳び下り ・跳び上がって支持して下りたり、支持の姿勢で体を揺らして後ろに跳び下りたりすることができる。 ○前回り下り、足抜き回り ・支持の姿勢から体を丸めて前に回って下りたり、両手でぶら下がって前後に足抜き回りをしたりすることができる。	・手や足、腹でぶら下がった姿勢でじゃんけんをしたり、支持して体を揺らして速くへ跳ぶ競争をしたりするなど、自分の力に合った楽しくできる遊び方を考え、選んでいる。 ・友達のよい動きを擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・鉄棒遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
跳び箱遊び	5	・いろいろな跳び方で跳んだり、跳び方を工夫したりして楽しむ。	・跳び箱を使った運動遊びの行い方がわかる。 ○踏み越し跳び ・片足で踏み切って跳び箱に跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○支持でまたぎ乗り・またぎ下り、支持で跳び乗り・跳び下り ・数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いてまたぎ乗ったり、またいだ姿勢で手を支点に体重を移動させてまたぎ下りたりすることができる。 ・数歩の助走から両足で踏み切り、跳び箱に両手を着いて両足で跳び乗ったり、ジャンプをして跳び下りたりすることができる。 ○馬跳び、タイヤ跳び ・両手で支持してまたぎ越すことができる。	・跳び乗った後、手を叩いたり、回ったりなど自分の力に合った着地の仕方を考え、選んでいる。 ・友達のよい跳び方を擬態語や擬音語で表現したり、学習カードに書いたりしている。	・跳び箱遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳び下りたりするときなどに、危ないものが無いか、近くに人がいないか、マットや跳び箱などの器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。
かけっこ・リレー	6	・いろいろなジグザグコースを作って走ったり、友達と競走したりする。	・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・まっ直ぐなところや蛇行したところを調子よく走ることができる。 ・相手の手の平にタッチをしたりして走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。	・ジグザグ走のコースや折り返しリレーのコースを工夫して作っている。 ・ジグザグ走の感想や走り方のポイント、友達のよい走り方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・かけっこ・リレーにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
ハードルリレー	6	・いろいろなコースを作り、走って跳び越したり、自分や友達の作ったコースでリレーをしたりする。	・ハードルリレーの行い方がわかる。 ・いろいろな間隔に並べられた高さの違う障害物を走り越えることができる。 ・リレーにおけるバトンの受け渡しをスムーズに行うことができる。 ・低い障害物を置いた蛇行したコースやまっ直ぐなコースをバランスよく最後まで調子よく走り越すことができる。	・ハードルリレーのコースをいろいろな用具を使い、置き方を工夫して作っている。 ・ハードルリレーの感想や走り方のポイント、友達のよい走り方や引き継ぎ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・ハードルリレーにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・走る場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
高跳び遊び	5	・いろいろな場を選んで、いろいろな跳び方で高く跳ぶ。	・高跳び遊びの行い方がわかる。 ・片足や両足で連続して上方に跳ぶことができる。 ・助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って上方に跳ぶことができる。	・高跳び遊びのいろいろな場を工夫して作っている。 ・自分の力に合った跳ぶ場を選んでいる。 ・高跳び遊びの感想や跳び方のポイント、友達のよい跳び方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・高跳び遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・跳ぶ場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

第2学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ボール投げ遊び	6	・いろいろな場でボールを投げ、友達とボール投げ競争をする。	・ボール投げ遊びの行い方がわかる。 ・体重移動を行い、ボールを遠くに投げることができる。	・ボールを遠くに投げるための投げ方を工夫したり、練習の場を選んだりしている。 ・ボール投げ遊びの感想や投げ方のポイント、友達のよい投げ方を書いたり、発表したりして友達に伝えている。	・ボール投げ遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・ボールを投げる場所に危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。
水遊び	8	・約束を守って、いろいろな水遊びをする。	【水の中を移動する運動遊び】 ・水の中を移動する運動遊びの行い方がわかる。 ・水につかったのりレー遊び、鬼遊びなどで、水の抵抗や浮力に負けないように、自由に歩いたり走ったり、方向を変えたりすることができる。 ・手で水をかいたり、足でプールの底を力強く蹴ったりジャンプをしたりしながら速く走ることができる。 【もぐる・浮く運動遊び】 ・もぐる・浮く運動遊びの行い方がわかる。 ・水に顔をつけたり、もぐって目を開けたりすることができる。 ・水中で息を止めたり吐いたりしながら、じゃんけんや輪くぐりなどのもぐる遊びをすることができる。 ・浮力に負けないように、手や足を使っていろいろな姿勢でもぐるることができる。 ・壁や補助具につかまったり、友達に支えてもらったりしていろいろな姿勢で浮くことができる。 ・補助具や友達につかまり、体を伸ばした姿勢にして浮いて進むことができる。 ・息を吸って止め、全身の力を抜いていろいろな姿勢で浮くことができる。 ・息を止めてもぐり、口や鼻から少しずつ息を吐きながら水面まで跳び上がって息をまとめて吐いた後、空中ですぐに吸ってまたもぐるることができる。 ・膝を曲げたり伸ばしたりして、跳び上がる動きを繰り返し返すことができる。	・楽しくできる水遊びの場や遊び方を工夫し、選んでいる。 ・楽しくできるバブリングやボビングの遊び方を工夫し、選んでいる。 ・友達の水中でのよい移動の仕方やもぐり方・浮き方を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 ・スムーズに歩いたり走ったりするために、方向や速さを変えるときの手や足の使い方を見付け、友達に伝えている。	・水遊びにすすんで取り組んでいる。 ・順番やきまりを守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・準備運動や整理運動をしっかり行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まない、友達とぶつからないように動くなどの水遊びの心得を守っている。また、水遊びをする前には、体（爪、耳、鼻、頭髪等）を清潔にしている。
宝取り鬼	5	・走り方や攻め方を工夫して、宝取り鬼をする。	・鬼遊びの行い方がわかる。 ・相手（鬼）にタグを取られないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身かわしたりすることができる。 ・相手（鬼）のいない場所に移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。	・楽しく宝取り鬼をするための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、宝を取るための攻め方を話し合っていて考えている。 ・少人数で連携して相手（鬼）をかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	・宝取り鬼にすすんで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール投げゲーム	6	・ボールの投げ方や攻め方を工夫してボール投げゲームをする。	・ボール投げゲームの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを投げたり、パスを出したり、得点したりすることができる。 ・ボールを捕ったり止めたりすることができる。 ・ボールが飛んでくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくボール投げゲームをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・得点につなげるためのパスの仕方やボールの投げ方、攻め方を話し合っていて考えている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることや、パスの仕方、コースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール投げゲームにすすんで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

第2学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ボール運び鬼	6	・走り方や攻め方を工夫してボール運び鬼をする。	・ボール運び鬼の行い方がわかる。 ・相手（鬼）にタグを取られないように、空いている場所を見付けて、速く走ったり、急に曲がったり、身をおかわしたりすることができる。 ・相手（鬼）のいない場所へ移動したり、駆け込んだりすることができる。 ・少人数で連携して相手（鬼）をおかわしたり、走り抜けたりすることができる。 ・逃げる相手を追いかけてタグを取ることができる。	・楽しくボール運び鬼をするための遊び方の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・タグを取られずに、ボールをゴールまで運ぶための攻め方を話し合って考えている。 ・少人数で連携して相手（鬼）をおかわしたり、走り抜けたりする行い方について、動作や言葉で友達に伝えている。	・ボール運び鬼にすすんで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール蹴りゲーム （キックベースボール）	6	・ボールを蹴って得点を入れたり、ボールを取ってアウトにしたりして、キックベースボールをする。	・キックベースボールの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って得点につなげることができる。 ・ボールを捕ったり止めたりすることができる。 ・ボールが飛んだり、転がったりしてくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくキックベースボールをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・得点につなげるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合って考えている。 ・友達がしているよい動きを見付けて友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることやコースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。	・キックベースボールにすすんで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
ボール蹴りゲーム （ドーナツ・サッカー）	6	・蹴り方や攻め方を工夫して、ドーナツ・サッカーをする。	・ドーナツ・サッカーの行い方がわかる。 ・ねらったところにボールを蹴って得点につなげることができる。 ・ボールを止めることができる。 ・ボールが転がってくるコースに入ることができる。 ・ボールを操作できる位置に動くことができる。	・楽しくドーナツ・サッカーをするための規則の中から、自分の力に合った規則を選んでいる。 ・得点につなげるためのボールの蹴り方や攻め方を話し合って考えている。 ・友達がしているよい動きを見付けて、友達に伝えている。 ・ボールを捕ったり止めたりすることや、パスの仕方、コースへの入り方など、自分で考えて行った工夫を動作や言葉で友達に伝えている。	・ドーナツ・サッカーにすすんで取り組んでいる。 ・順番や規則を守り、誰とでも仲よくしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。
表現遊び・遊園地へ ゴー！	4	・好きな遊園地の乗り物になりきって、全身で楽しく踊る。	・表現遊びの行い方がわかる。 ・遊園地のいろいろな乗り物の様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に「大変だ！〇〇だ！」など、急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊ることができる。	・遊園地のいろいろな乗り物の特徴的な様子を捉え、表現したい乗り物の様子を選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・表現遊びにすすんで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。
表現遊び・生き物ランド で変身！	4	・いろいろな生き物に変身して全身で楽しく踊る。	・表現遊びの行い方がわかる。 ・いろいろな生き物の特徴や様子を具体的な動きでいくつか捉え、跳ぶ、回る、ねじる、這う、素早く走る、高・低の差や速さに変化のある動きなどの全身の動きで即興的に踊ることができる。 ・動きの中に「大変だ！〇〇だ！」など、急変する場面を入れて簡単な話にして続けて踊ることができる。	・いろいろな生き物の特徴的な様子を捉え、表現したい生き物の動きを選んでいる。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・表現遊びにすすんで取り組んでいる。 ・表現遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。
リズム遊び	4	・リズムに乗って弾んで踊ったり、友達と一緒に踊ったりする。	・リズム遊びの行い方がわかる。 ・へそ（体幹部）でリズムに乗って、スキップなどで弾む動きを中心に、ねじる、回る、移動するなどの動きを繰り返して即興的に踊ることができる。 ・タタロチカは、大きな掛け声をかけたり、友達の顔を見たりしながら元気に踊ることができる。	・手をたたいたり、ジャンプしたりなどの動きを取り入れたりして工夫している。 ・友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを発表などで友達に伝えている。	・リズム遊びにすすんで取り組んでいる。 ・リズム遊びに取り組む際に、誰とでも仲よくしている。 ・場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

第2学年 特別活動

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級のめあてを決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★楽しい運動会にしよう	3	運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	運動会を通して成長する上での課題を見だし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	運動会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
雨の日の過ごし方	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常の生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
1学期はどうでしたか （楽しい夏休みにしよう）	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう （楽しい夏休みでしたか）	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★楽しい篠三まつりにしよう	3	篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	篠三まつりを通して成長する上での課題を見だし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	篠三まつりを通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	篠三まつりにかけて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
★楽しい学習発表会にしよう	6	学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	学習発表会を通して成長する上での課題を見だし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	学習発表会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
2学期のめあてを振り返る （楽しい冬休みにしよう）	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう （楽しい冬休みでしたか）	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常の生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解している。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
もうすぐ3年生 （楽しい春休みにしよう）	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。 次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

第2学年 読書科

単元名	時数	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本の世界を楽しもう やさしいことをしらべよう 昔話を読もう	12	○読書を通して、野菜に興味をもち、意欲的に本を読むことができる。 ○調べたことや自分の考えを、分かりやすく表現することができる。 ○いろいろな昔話を探して読ことができる。	○野菜に関する本を探して読んでいる。 ○疑問の解決のために答えをカードに書き抜くことができる。 ○日本や世界の昔話を探して読んでいる。	○野菜に関する疑問を見付け、その解決に向けて情報を記録している。 ○自分の調べたいことについて考えをもち、分かりやすくまとめている。	○すすんで本を読み、調べようとしている。 ○野菜に関する疑問について、主体的に学んでいこうとしている。 ○すすんで昔話を探して読もうとしている。
どうぶつはかせになろう あまんきみこの本を読もう	15	○動物園で見てきた動物に興味をもち、その動物について疑問を太陽チャートに書くことができる。 ○一番知りたい疑問を調べるができる。 ○調べたことをリーフレットにまとめることができる。	○動物に関するいろいろな本をさがして読んでいる。 ○疑問の解決のために、答えをカードに書き抜くことができる。	○身近な生活や体験の中から、生き物に関する疑問を見つけている。 ○動物について調べたことや自分の考えをリーフレットにまとめている。	○すすんで本を読み、調べようとしている。 ○動物に関する疑問について、主体的に学んでいこうとしている。
おもちゃはかせになろう レオ・レオニの本を読もう おはなしびじゅつかんをつくろう	8	○身の回りの物を使っておもちゃを作ることができる。 ○一年間の読書を振り返り、一番心に残った本を選ぶことができる。 ○その本の中で一番心に残った場面を選ぶことができる。 ○登場人物や簡単なあらすじをまとめ、発表することができる。	○本を読み、自分の作りたいおもちゃを探している。 ○読んだ本を読書記録ノートに記録している。	○おもちゃの簡単な作り方を紹介している。 ○一番心に残った場面にふさわしいタイトルを考えている。 ○登場人物やあらすじをまとめている。	○作りたいおもちゃが載っている本をすすんで読もうとしている。 ○すすんで本を読み、本の良さを伝えようとしている。